



# 船穂中つれづれ

令和7年度学校通信  
令和7年9月5日  
第17号



学校教育目標：変化していく社会に対応できる、心豊かな主体性のある生徒の育成を図る  
令和7年度重点目標：主体的な学習「わかった」「できた」「やってみよう！」<授業改善>  
自己肯定感の向上 「船穂大好き・人大好き」<探究学習>

船穂中HP

## ～夏休み2025のいろいろ その②～

### ～夏休みわくわく寺子屋～

8月5日(火)～9日(土)の5日間、『わくわく寺子屋ボランティア』がありました。これは、中学生が小学生に勉強を教えよう、という公民館の企画でした。10名の募集のところ、3年生15名が名乗りを上げました！同じ空間で小学生と中学生が勉強をしている姿はとても微笑ましかったです。最終日の9日(土)には、調理室でカレーを作り、みんなでおいしくいただきました。



また、倉敷市主催の夏のボランティア活動には、1～3年生の104名もの生徒が参加し、それぞれの事業所等で体験をしました。自分以外の誰かのために、何かをすること、しようとするのはとても素晴らしいことです。体験者の振り返りのノートには、『普段は体験できないことができて、とても良い経験になりました。これを、学校生活の中でも生かしていきたいです』などの感想が書かれていました。

### ～租税教室～

8月18日(月)全校登校日の日、3年生対象に玉島税務署管内より講師の先生にお越しいただき、租税教室を行いました。消費税から相続税に至るまで、税金にはたくさんの種類があることや、どんな場合に課税の義務が生

じるのかなど、難しいことをクイズを解いたり、班で考えたりして楽しく学ぶことができました。クイズの正解者には、景品が出ていました！3年生は、あと5年後には選挙権が得られます。税制度も含めた社会のことにもしっかり目を向け、日本の未来に向けて考え、発信できる力をつけていってほしいと思います。



### ～倉敷市弁論大会・岡山県少年の主張～

8月3日(土)は、倉敷市弁論大会がありました。全校の代表として、1年生の森分董さんが出場しました。また、8月21日(木)には、岡山県少年の主張がありました。こちらは学校代表として3年生の為藤咲絢さんが出場しました。二人とも、校内弁論大会の時の原稿と演説にさらに磨きをかけ、夏休みに練習を重ね、聞くものの心を打つ素晴らしい弁論を発表していました。



### ～ドイツ人 交流生とのお別れ～ (今週の出来事です)

9月3日(水)は、8月28日(木)から来ていたドイツ人の交流生とのお別れの日でした。彼は、この5日間、船穂中学校の日常を1年A組の生徒と共に体験しました。ドイツには存在しない給食当番や清掃活動は新鮮だったと思います。また、英語の授業では、ネイティブに近い発音で生徒を魅了していました。1年A組の生徒たちだけで企画した学活のお別

れ会は楽しく大盛り上がりでした。最後に彼からは、「(前略)とても楽しかったです。もしまたチャンスがあれば、来年も来たいです。」というメッセージが読み上げられました。お互いにとってそれぞれの国や文化に触れるとても良い貴重な機会でした！船穂中に来てくれた彼にも、温かく受け入れてくれた生徒の皆さんにも感謝！感謝！！です。

